授業科目名	フロントエンド開発 I	学年	2	学 科 コース	Webクリエイター科 Web エンジニアコース	年度	2026
担当教員名	有田 雅浩					実務経験	有
授業の方法	演習	科目区分	選択必修	学期	通年	単位数	2	時間数	60
実務 / 指導経験	エンジニアとして、アパレル系 EC サイト開発・保守、回線系受注基盤設計・開発、ロボティクス系開発、CMS サイト開発などに携わる。実務経験 11 年。指導経験 2 年。						
授業の概要 :実務/指導経験を活かした教育内容	モダンなフロントエンド開発環境に触れる一環として、エンジニアから多くの支持を集める JS ライブラリ「React」を用いた Web アプリケーション開発を学習します。 また、実務では欠かせないバージョン管理システムを習得・活用できるように常に利用します。						
授業の 到達目標	1. JavaScript の基礎概念を理解し、概念に基づくソースコードの読解および記述ができる 2. React の基本思想ならびに主要記法を理解し、要件に即した基本的 UI コンポーネントを構築できる 3. 要求に基づき画面構成・状態設計を行い、簡易なアプリケーションを主体的に開発できる						
成績評価の方法	方法	定期試験:60%・ 平常点:40%　　※前期と後期で評価し、その平均が通年評価					
	基準	優(100～90) ・ 良(89～70) ・ 可(69～40) ・ 不可(39～0)					
準備学習・事後学習等	・JavaScript について自分なりに調査し、触れておくこと ・授業内容を理解するため、新しく得た知識の復習や小さな追加実装を行い記録に残すこと						
テキスト	無						
参考書等	無						
その他 :学生に対する要望、メッセージ等	はじめはうまくいかないところが出るのは自然なことです。詰まったら遠慮なく相談してください。 今日できたことを 1 つずつ増やし、小さな成功を積み上げていきましょう。 最終的な成果物があなたの成長そのものです。毎回、手を動かしてしっかりやり切りましょう。						

授業計画

	内容		
1	オリエンテーション、開発環境構築	31	React(データ/状態設計)
2	〃	32	〃
3	ターミナルの基礎と Git の基本概念	33	React(フィルタ/ソート)
4	〃	34	〃
5	Git 基本操作(コミット)、Github 利用	35	React(ページング)
6	〃	36	〃
7	Git 基本操作(ブランチ、マージ)	37	React(モーダル)
8	〃	38	〃
9	JS 基礎(変数/型/関数/演算/制御)	39	React(Router)
10	〃	40	〃
11	JS 基礎(オブジェクト/配列/操作)	41	〃
12	〃	42	〃
13	JS 基礎(文字列操作/URL)	43	React(UI 設計/実装)
14	〃	44	〃
15	JS 基礎(非同期処理/モジュール)	45	〃
16	〃	46	〃
17	React(環境構築/React 導入/JSX)	47	React(URL 同期)
18	〃	48	〃
19	React(コンポーネント/props)	49	React(cleanup/依存配列・副作用)
20	〃	50	〃
21	React(イベント/state)	51	課題作成
22	〃	52	〃
23	React(リスト/条件レンダ)	53	〃
24	〃	54	〃
25	React(フォーム/バリデーション)	55	〃
26	〃	56	〃
27	React(fetch/ローディング/エラー)	57	〃
28	〃	58	〃
29	React(検索)	59	課題発表/コードレビュー
30	〃	60	振り返り